

ユーロの最近の動向および今後の見通しについて

～最近の動向～

為替市場において、ユーロが大きく売られる状況となっています。

ユーロ円相場は、足元(2月5日 東京時間午前10時現在)で122円台と、年初の133円台から11円程度の円高ユーロ安となっております。

ユーロ安が進んでいる要因として、ギリシャなどのユーロ圏諸国の財政不安が懸念されている点が挙げられます。

昨年12月に、大手格付け会社によってギリシャの信用格付けは引き下げられました。ギリシャ政府が昨年12月に発表した財政再建策について、政府債務の持続的な削減が見込めないということが引き下げの要因でした。こうしたなか、ギリシャ政府は今年に入り、EU(欧州連合)に新たに「経済安定化計画」案を提出し、承認されましたが、その実行性について不透明な部分があり、依然としてギリシャに対する市場の不安は払拭されていません。また、ポルトガル・スペインなど、ギリシャ以外の財政赤字問題を抱えたユーロ圏諸国に対しても懸念が広がっています。

また、ユーロ安の背景として、投資家のリスク回避傾向が高まっていることが挙げられます。中国人民銀行は12日に、預金準備率の引き上げを発表しました。それ以降、市場では金融引き締めへの警戒感から、世界経済の成長を牽引している中国経済の勢いが衰えるのではないかという見方が広がりました。また、米国ではオバマ大統領から金融機関に対する規制案が示されました。こうしたことから、投資家のリスク回避傾向が高まり、これまで買われていたユーロが売られる要因となっています。

さらに、ユーロ圏経済の相対的な回復の遅れが意識されている点も、ユーロ安の要因と考えます。最近発表された、小売売上高や失業率などの経済指標が弱い数字となっており、こうした見方を裏付ける結果となっています。

～今後の見通し～

ギリシャなどの財政問題は、当面、ユーロにとってマイナス要因として働くと考えられます。

今年に入ってから10円以上下落したスピードは速く、投機的な動きも見られます。

短期的には現状の円高ユーロ安が進展する可能性はあるものの、投資家のリスク回避傾向の後退や日欧の金利差に着目した投資等により、徐々にユーロへの投資が回復していくと見ています。

本レポートは、弊社ファンドマネージャーのコメントに基づき作成したものです。

◆当資料は、損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社により情報提供を目的として作成された資料です。したがって、勧誘を目的としたものではありません。また、法令等にもとづく開示書類ではありません。◆投資信託は、主として値動きのある証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。◆当資料に記載されている各事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果等を保証するものではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されていますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。投資信託をお申し込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。また、お申込みに関する決定は、お客様自身でご判断下さい。

ユーロ円相場の推移
(1999年1月1日～2010年2月5日)



ユーロ円相場の推移
(2007年12月31日～2009年2月5日)



◆当資料は、損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社により情報提供を目的として作成された資料です。したがって、勧誘を目的としたものではありません。また、法令等にもとづく開示書類ではありません。◆投資信託は、主として値動きのある証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。◆当資料に記載されている各事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果等を保証するものではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。投資信託をお申し込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。また、お申し込みに関する決定は、お客様自身でご判断下さい。

[投資信託をお申込みに際しての留意事項]

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

●投資信託に係る費用について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限3.675%(税込み)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保金 上限0.5%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 …… 信託報酬 上限1.995%(税込み)

■その他費用等 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

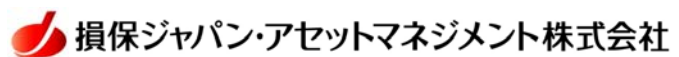
「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

交付目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、損保ジャパン・アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく交付目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。



損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第351号
 加入協会/社団法人投資信託協会
 社団法人日本証券投資顧問業協会

◆当資料は、損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社により情報提供を目的として作成された資料です。したがって、勧誘を目的としたものではありません。また、法令等にもとづく開示書類ではありません。◆投資信託は、主として値動きのある証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。◆当資料に記載されている各事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果等を保証するものではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。投資信託をお申し込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。また、お申込みに関する決定は、お客様自身でご判断下さい。